

令和元年 第4回  
京田辺市議会定例会

一般質問（質問項目・要旨）

傍聴用

京田辺市議会

## 12月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月9日 (月)	1	<small>ますとみりつこ</small> <b>増 富 理 津 子</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	1
	2	<small>くほのりひこ</small> <b>久 保 典 彦</b> (自民一新会)	2
	3	<small>むこうがわひろし</small> <b>向 川 弘</b> (公 明 党)	3
	4	<small>あおきこうじろう</small> <b>青 木 綱 次 郎</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	5
	5	<small>はしもとよしゆき</small> <b>橋 本 善 之</b> (自民一新会)	7
	6	<small>かたおかつとむ</small> <b>片 岡 勉</b> (無 会 派)	9
12月10日 (火)	7	<small>うえだたけし</small> <b>上 田 毅</b> (京都南風の会・日本維新の会クラブ)	11
	8	<small>おかもとりょういち</small> <b>岡 本 亮 一</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	12
	9	<small>なんぶとしこ</small> <b>南 部 登 志 子</b> (無 会 派)	13
	10	<small>えのもとこうすけ</small> <b>榎 本 昂 輔</b> (自民一新会)	15
	11	<small>つぎたのりこ</small> <b>次 田 典 子</b> (無 会 派)	17

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月11日 (水)	12	あきづきけんすけ <b>秋 月 健 輔</b> (京都南風の会・日本維新の会クラブ)	18
	13	かわもとたかし <b>河 本 隆 志</b> (NEXT京田辺)	20
	14	きくかわかずしげ <b>菊 川 和 滋</b> (NEXT京田辺)	22
	15	かわだみほ <b>河 田 美 穂</b> (公 明 党)	24
	16	よしたか ゆ か こ <b>吉 高 裕 佳 子</b> (無 会 派)	25

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

**1 介護保険事業について**

- (1) 日常生活圏域ごとの課題は。
- (2) 在宅介護を支えるための体制づくりを。
- (3) 介護人材不足への対応は。
- (4) 認知症の人を支えるまちづくりを。

**2 指定避難所の環境整備と運営体制について**

- (1) 指定避難所の環境整備と健康管理対策の充実強化を。
- (2) 特別な支援が必要な避難者への対応は。
- (3) プライベートが確保された安心できる避難所に。

**3 教育問題について**

- (1) 学級運営補助員・特別支援教育支援員の配置について、小学校、中学校での現状と課題は。
- (2) 校内に不登校の子どもが安心して過ごせる居場所の設置と教職員の配置を。

### 1 市長の政治姿勢について

- (1) 今年7月に前副市長が退任され、現在まで約5カ月間副市長不在となっている。副市長不在による影響と、今後の市長の考えを問う。
- (2) 市長は中学校給食の早期実現を行うと言われていたが、具体的なタイムスケジュール及び市長の考えについて問う。
- (3) 副市長不在のなか具体的にどのように、行政運営を行っていくのか。また、市職員への教育や育成についての考えについて問う。

### 2 スポーツ事業について

- (1) ワールドマスターズゲームズ2021に向けた施設整備及び準備状況について問う。
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピックについて、市の関わり方を問う。
- (3) 全国小学生ハンドボール大会等のスポーツ事業の今後の計画について問う。

### 3 公共施設について

- (1) 小・中学校や住民センター等の公共施設を中心とした市施設のLED化について、現状と今後の計画について問う。
- (2) 幼稚園、保育所等の公共施設の耐震化状況及び長寿命化対策について、現状と今後の計画について問う。

**1 高齢者の自動車運転事故対策について問う**

- (1) 高齢者ドライバーの自動車運転事故対策の実施状況を問う。
- (2) 本市における高齢者ドライバーのアクセルとブレーキペダルの踏み間違いと思われる事故の発生件数は何件か。
- (3) 急発進抑制装置等の取り付けに対する補助金助成等を本市で実施すべき。

**2 振り込め詐欺等防止のための本市の対応を問う**

- (1) 本市における振り込め詐欺等による被害件数、被害額はどれだけか。
- (2) 本市における振り込め詐欺等防止のための本市の対応はどのように行っているのか。
- (3) 振り込め詐欺等の対策に効果があるとされる事前警告機能付録音装置等や振り込め詐欺対策電話機等の貸与あるいは購入等補助金助成を実施する考えはあるか。

**3 道路や公園の遊具等の破損等の対応に対する市民参画の状況を問う**

- (1) 道路や公園の遊具等の破損等を市はどのような方法・頻度で把握しているのか。
- (2) 道路や公園の遊具等の破損等の把握において市民参画を拡大すべきと考えるが市の考えを問う。
- (3) スマートフォンを活用し、市民や職員等が道路や公園の遊具等の破損等の把握・情報共有できるシステムを活用すべきと考えるが、市の考えを問う。

**4 死亡届提出後に遺族が行う窓口手続きの負担軽減について**

- (1) 死亡届提出後に遺族が行う手続きは何カ所の窓口を回り、何枚の書類を記入するのか。
- (2) 死亡届提出後に専門の窓口によるワンストップの実施、あるいは各窓口へ職員が案内するような、利便性を向上させる計画はあるのか。
- (3) 届ける方の高齢化を踏まえ、死亡手続き関連書類の文字の大型化と、氏名・住所などの各書類で記入する項目の一括処理をすべき。

**1 下水道事業について**

- (1) 下水道は住民生活、住民福祉の向上に不可欠のものと考えているが、この点での市の見解を明らかにされたい。
- (2) 2018年度より、一般会計から公共下水道事業会計への繰入が大幅に減額されたが、その理由を明らかにされたい。
- (3) 下水道料金引上げの計画の中止を求める。

**2 都市計画税について**

- (1) 都市計画事業費は近年、大きく減額しているが、その理由について市の見解を明らかにされたい。
- (2) 今後の都市計画事業費の見通しについて、明らかにされたい。
- (3) 一般会計から公共下水道事業会計への繰入は、都市計画税を財源の一つとする都市計画事業費として支出されている。このため住民は都市計画税の形でも公共下水道事業に関わる経費を負担していると考えますが、この点についての市の見解を明らかにされたい。
- (4) 京都府内で2番目に高い本市の都市計画税率の引き下げを求める。

**3 粗大ごみ、持込ごみの有料化の検証、見直しを**

- (1) 2016年10月より、粗大ごみ、持込ごみの有料化が導入された。その効果などを検証すべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。
- (2) 有料化導入以前から、市民はごみ減量化に取り組んでおり、有料化は単に市民に新たな負担増を押しつけただけと考えるが、市の見解を明らかにされたい。
- (3) 粗大ごみ、持込ごみの有料化の廃止を求める。



#### **4 平和施策について**

戦争体験者や戦没者の遺族の方々、および市民の平和への思いを集めた、第2集目となる市民の戦争体験手記集を、市の平和事業として発行することを提案する。

### 1 参画と協働によるまちづくりの推進について

- (1) 地域コミュニティの醸成と区や自治会との連携強化がますます重要になっているが、市と各地域とのパイプ役である市政協力員制度が今年度で廃止されると聞く。防災や福祉面などまちづくり分野で地域連携は欠かせない。今後の取り組みを問う。
- (2) 区や自治会の住民加入率が低下している中で、今後どのようにして地域コミュニティづくりを支援し、地域力を高めていくのか。市の考えを問う。
- (3) 市長の施政方針では大学との連携の重要性が随所で表現されている。具体的な取り組み状況及び今後の展望を問う。
- (4) 地域力を始め防災力を高めるには、消防団の存在は欠かせない。しかし、団員の確保には苦慮されていると聞くが、日ごろの消防団員活動を広く市民に発信するなど、団員確保に向けた取り組みを問う。

### 2 公共交通について

- (1) 本市のバス交通に係る現在までの取り組み内容と効果検証について問う。
- (2) 現在までは「バス交通等検証委員会」を中心に主にバス交通に関する取り組みを進められてきた。しかし、本来はまちづくりと一体となった交通戦略が重要である。今後の本市としての公共交通政策の展望について問う。
- (3) 人口減少とともに超高齢社会が現実のものとなる中で、持続可能な社会構築のためには交通政策の重要性がますます大きいものとなる。今後の具体的な取り組み方針について問う。

### 3 治水対策について

- (1) 近年の豪雨災害では河川の氾濫、越水による被害に加えて、内水排除困難による浸水被害が報告されている。木津川の水位上昇に伴う堤内地の治水対策、内水排除状況について問う。
- (2) 本市の新市街地整備に伴う治水対策の一つとして防賀川改修や新西浜樋門の整備は重要な課題である。また隣接して施設の老朽化等により河川構造令の諸基準に合致していない田辺排水機場の改修計画も進められているが、それら施策の進捗状況と今後の見通しについて問う。
- (3) 大住工業専用地域拡大事業では地権者の100%が農振地域農用地の解除に同意され、いよいよ具体的に組合設立に向け動き出すことになるが、当地でも防賀川が未改修なため治水対策が課題となっている。具体的な治水対策と防賀川改修の見通しについて問う。

#### 4 地域要望について

- (1) JR片町線の田辺第3踏切から第4踏切の区間は騒音、振動が顕著なため沿線住民が改善を求めている。迅速な対応をJR西日本に要請されたい。
- (2) 天津神川堤防の草刈りは京都府にて順次進められているが、堤体に繁茂する高木の伐採等はほとんどされていない。今年の台風では枝が折れて周辺に被害を及ぼしている。地元関係者と協議され、枝の剪定、伐採などを要望する。
- (3) 学校周辺地域での学童、園児の歩行安全対策として、地元関係者と協議調整のもとゾーン30やキッズゾーンなどの設定を検討されたい。

**1 中小企業支援・創業支援の取り組み及び企業誘致の取り組みについて**

(1) 中小企業支援・創業支援の取り組みについて

ア 関係機関（商工会、大学、中小機構、京都産業21など）との施策調整など、連携した取り組みとなるための会合等の実施状況はどのようなものか。

イ 同志社大学連携型起業家育成施設の入居・退去状況と市の京田辺市大学連携型起業家育成施設入居支援事業補助金に対する評価と事業継続について問う。

ウ 京田辺市起業家育成施設卒業企業立地促進事業補助金、近年の支援実績とその評価、今後の事業継続について問う。

(2) 本市の企業誘致の取り組みについて

ア 本市の企業誘致に対する考え方と取り組み状況について問う。

- ・企業誘致の効果についての考え方。
- ・本市における企業誘致（企業へのアプローチ）、府などとの連携状況、実際の誘致数。
- ・産業用地の創出に対する考え方、立地検討事業者対応の庁内連携状況。

イ 本市の今後の企業誘致の取り組みについて問う。

- ・立地企業への優遇策の今後のあり方。
- ・府有地活用に向けた府への要望活動の状況。

**2 農業振興支援の取り組みについて**

本市の取り組みとして、関係機関と連携して、販路の整備と拡大、出荷作業の省力化や共同利用機械の導入支援などを行っている中で、下記について問う。

片岡 勉

- (1) 圃場整備の検討や事業実施状況。
- (2) エビイモ栽培における、省力化に資する土入れや洗浄にかかわる支援策についての検討状況。
- (3) 良質米出荷奨励事業の継続実施について市の考えは。

**1 保育所及び幼稚園について**

- (1) 保育料無償化に伴い来年度の年齢別入所可能人数、入所申込状況及び受け入れ態勢について問う。また、保育士において不足数は有るのか。
- (2) 幼稚園についても保育所と同様の内容について問う。

**2 買い物弱者対策について**

平成26年9月議会において提言した買い物難民について、再度問う。

高齢化が進む地域で社会的課題になっている「買い物難民・弱者」の対策として、本市では「居場所サービスのお買い物支援」をしているが、地域サービスとして、どのような策があるのかを「考えていく隊」を立ち上げ、「手伝い隊」や「見守り隊」等々の活動を拡大していくべきと考えるがいかがか。

また、他府県・他市でも行っている事業を参考にし、実行していくべきでは。

**3 小・中学校のいじめについて**

- (1) 毎年のように尋ねるが、最近のいじめ問題状況の報告を求める。またその対応については。
- (2) いじめによる不登校・いじめ以外の不登校について、現状と対応状況を問う。

### 1 住宅リフォーム助成制度について

- (1) 市内中小零細企業の景気動向についての認識を問う。
- (2) 市内の地域経済振興と住環境改善を目的とする「住宅リフォーム助成制度」についての認識を問う。
- (3) 住宅の増改築やリフォーム工事を行う市民に工事費用の一部を助成する「住宅リフォーム助成制度」を実施すべきと考えるがどうか。

### 2 小・中学校の図書館司書の配置について

- (1) 本市では、小学校 9 校・中学校 3 校、計 12 小・中学校に 4 名の司書が配置されている。1 名の司書が 3 つの学校を受け持ち、3 週間で一巡しているが、子どもの読書環境の更なる改善を図るために、1 校 1 名の学校司書の配置を求める。
- (2) 継続して働き、責任を持って学校図書館運営に携わることができるよう雇用形態は、専任・専門・正規で学校司書を配置するよう求める。

### 3 地域猫対策について

- (1) 本市では、野良猫を減少させるために、適正な飼い方や無責任な餌やりをしないよう指導と啓発を行っているが、その対策と効果について問う。
- (2) 動物愛護法に基づき、適正に野良猫を減少させるためにも、他の自治体で効果をあげている避妊・去勢手術費用の助成制度を求める。

**1 普賢寺地域の課題**

(1) 普賢寺小学校のあり方について問う。

ア 地域の生徒の半数を超えないということで始まった特認校制度であるが、最近では地域外の生徒が地域の生徒数を上回る状態が続いている。

この点についての認識と今後の方針について、教育長に問う。

イ 希望する幼稚園に入れずに普賢寺幼稚園に入園した園児の中から、特認校制度を利用して普賢寺小学校に入学する児童が毎年一定数いる。この特認校制度を幼小連携の観点からも進めていく必要があると考えるが、教育長の見解を問う。

ウ 普賢寺小学校と三山木小学校の現状から考えると、校区の見直しも必要になってくるのではないかと思うが、教育委員会の認識を問う。

エ 多々羅地域の子どもたちは全額自費でバス通学をしているが、天王の子どもたちがスクールバス通学になったことから、多々羅へもスクールバス運行を要望する声が上がっている。教育委員会の見解を問う。

(2) 捕獲されたイノシシの処分のあり方について、早急な改善を求める。

**2 外国人とともに暮らすまちづくり**

(1) 納税通知や検診などの重要書類、また国保制度のリーフレットなどの英語表記を求める。

(2) 外国人技能実習制度の導入後、本市でもベトナム人が急増している。今後は、様々な面においてベトナム語で対応する必要があると思われるが、市の認識を問う。

**3 田辺小学校の通学路対策**

(1) 田辺小学校から南里の交差点までの改良を求める。



- (2) 京都銀行から陸橋までの急カーブにガードレールの設置を求める。
- (3) 新田辺西住宅内の車両通行量が増加している。対策を求める。

#### **4 議員報酬**

議員報酬の引き下げを求める。

#### **5 HIV・AIDSなどの性感染症対策**

若年層に急速に広がる梅毒などの性感染症は、HIVやAIDSなどの潜在感染者を生み出す素因ともなっている。また、将来的には不妊などにも繋がるのが指摘されている。市としての対策を求める。

**1 観光振興について**

- (1) 市長の施政方針に、「観光振興では、「お茶の京都DMO」や、鉄道・バス事業者等と連携し、広域周遊観光ルートの開発や地域の情報発信に取り組んでまいります。」とあるが、具体的な市としての観光ビジョンは何か。
- (2) 昨年本市の一休寺が鉄道事業者のキャンペーンに取り上げられ、多くの観光客が本市へ訪れたが、その後の観光客へのフォローや継続して訪れてもらえるような施策を行っているのか、市の現在の状況を問う。
- (3) 本市域では観光資源が少なく、観光客の促進が観光収入の増加に直結するのが難しい。薪地内の山手幹線沿いに一休寺に隣接して「道の駅」を計画するなど、観光を地域経済の活性化につながるような施策が必要であると考えているが、市の考えは。

**2 農業振興について**

- (1) Uターン・Iターンの促進を進めている地方自治体が増えているが、本市における新規就農者のスタートアップフォローは具体的にどのようなことを行っているのか。
- (2) 専業農家の抱える課題として販路の拡大があげられるが、個人で販路拡大を行うことは難しい。本市として専業農家が販売できる行政主導による販売所の開設及びインターネットでの販売、ふるさと納税の返礼品に選定するなど、今後の本市の施策を問う。

**3 地域要望について**

- (1) 山手中央交差点の信号機で、山手幹線における車の流れが止まること

が多々ある。本年の9月議会でも会派同僚議員から質問があったが、その後の市の対応を問う。

- (2) JR松井山手駅前ロータリーの朝・夕の送迎車が混雑していることで通行車両の進行を妨げている。長時間停車している車やロータリー外で停車している車のドライバーへの対応強化を要望する。市の考えは。
- (3) 市内にて違法ごみ回収業者が、許可なく資源ごみを回収するといった事例が起きている。違法ごみ回収業者の取り締まりの強化を要望するが市の考えは。

**1 甘南備園の建て替え問題について**

- (1) 進捗状況はどうか。
- (2) 風向や水の流れ等から京田辺市の受ける環境被害に対する市長の考えはどうか。
- (3) 建て替え予定地は地震等の被災の可能性が高いと考えられる。市長に認識と対応策を問う。

**2 市内路線バスの改善について**

- (1) 市内路線バスの減便で市民は大変困っている。改善はどのようにするのか。
- (2) 高齢社会における路線バスの充実は緊急の課題だ。対策を急ぎ、利用しやすくすべきだ。

**3 不登校対策と夜間中学について**

- (1) 今年10月25日文科省より「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」が出された。市教委の認識はどうか。
- (2) 京都市教委は、洛友中学の入学要件を緩和した。京田辺市教委の対応はどうしていくのか問う。
- (3) 全教職員に対し、「不登校」と「夜間中学」の研修等を行い、認識を深め周知徹底をすべきだ。

## 1 昨今の I C T 機器の普及状況を鑑みた情報教育について

- (1) 昨今、家庭における情報端末の普及率は携帯性に特化した端末が多く、情報消費に特化してしまっている。知的な生産に適したデスクトップ P C やノート P C 端末の普及が、今後の市民からの人材ニーズに答えていくという観点において必要不可欠であると考え。その促進のために学校においてコンピュータを駆使しないと処理出来ないような課題を日常的に課す必要性がある、市の現状と認識を問う。
- (2) 教育の現場においても I C T 機器の普及が叫ばれて久しいが、旧来の一斉指導の指導方法が性質的に非効率である現状があり、I C T 機器の教育現場への普及を遅らせてきた一因にもなっている。今後は統制のためのリソースを減らし、生徒一人一人と向き合い自発的な学習促進指導に特化することが、今後の教員の負担を減らしつつ適切に子どもに学びを促すための現実的な働き方改革にも繋がると考えるが、市の現状と認識を問う。

## 2 プログラミング教育について

- (1) プログラミング教育を実のあるものにするためには、自発性や創意工夫を自身に発揮してもらうような授業形態が望ましいため、図画工作のような制作中心の時間を主体に確保し、個々人の自発性に任せる方法が望ましいと考える。プログラミング教育における授業形態に関して本市ではどのような時間の取り方、指導をするのかを問う。
- (2) プログラミング教育とは、突き詰めるといわば情報整理・処理能力に関しての知恵を身に着けさせることであり、板書的な一斉指導で行うものではなく、日常的なコミュニケーションの手段の選択肢として柔軟に対応する感性の発達を促すことにより自然と身につくものである。教員とのやりとり、生徒間でのコミュニケーション等でグループチャットや

秋月 健輔

T o D o 管理を行うなど、日常生活における実践的活用によってそれらの感性が磨かれるものであると考えるが、市の現状と認識を問う。

### 1 令和2年度当初予算編成方針について

- (1) 現在、来年度予算の査定、編成に向けて準備を進めていると思われるが、上村市政における予算面において、従来とは異なった視点、力点を置き、どのような新たなカラーを打ち出そうと考えているのか。
- (2) 市民、事業者、各種団体や大学等と連携を深め、参画と協働によるまちづくりを進めるとしているが、どのような戦略を考えているのか。
- (3) ICT技術を活用した市民サービス向上や、AIなどを活用した業務改革、行政改革実行計画などの開かれた行政とはどのようなイメージを持っているのか。

### 2 学校施設の適正化について

- (1) 人口増加、住宅開発により、小・中学校では児童生徒の人数に大きな差が生じている。学校施設の適正化に向けて施策展開をしていく必要性を感じるが、見解は。
- (2) 普賢寺小学校では、小規模特認校制度により市内から広く児童を募集している。こういった制度を他の小学校、中学校に拡充していく考えは。

### 3 子育て支援策について

- (1) 認定こども園施設整備の考え方について問う。
- (2) 子どもの遊び場環境をどのように考えているのか。
- (3) 子育て支援計画にプレーパーク事業を位置づけして、公園整備を進めていってはどうか。

#### **4 寄附金控除について**

- (1) 内閣府地方創生推進事務局から、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の拡充・延長が要望されているが、現在の市の状況は。
- (2) 企業から寄附を受ける場合、地域再生計画を作成し、内閣府の認定を受ける必要があるが、本市では地域再生計画を作成しているのか。
- (3) 個人住民税控除対象となる寄附金の税条例改正について見解を問う。

#### **5 プログラミング教育について**

2020年からの小学校でのプログラミング教育必修化に向けて、企業協力のもとでプログラミング教育を実施している自治体もみられる。今後の取り組みについて見解を問う。



### 1 安全安心のまちづくりに向けて

各地における台風被害を教訓とした本市の対応について。

- (1) 長期間停電時の備えとなる電源の確保について。
  - ア 公用車を電気自動車化へと推進してはどうか。
  - イ 簡易蓄電池の備え付けの現状について問う。
- (2) 水道関係施設における対策について。
  - ア 本市薪浄水場における非常用発電設備の設置状況について問う。
  - イ 浄水貯水池における浸水対策の状況と今後の取り組みについて問う。
- (3) ため池決壊被害への対策と取り組みについて問う。
- (4) 避難所収容人員に対する課題について、中央体育館を避難所とすべきだと考えるが、市の見解は。

### 2 子ども見守りににおける取り組みについて

- (1) 地域ボランティアの高齢化による補充対策について問う。
- (2) 地域が子どもを見守る体制強化に向けて、いきいきポイント事業の対象とするなど、市としてのインセンティブを促す取り組みを推進すべき。

### 3 公共施設総合管理計画における課題と計画のリバイスについて

- (1) 各施設の個別計画の策定状況と施設マネジメントへの対応について問う。
- (2) 文化施設を含む複合型施設建設など、策定以降の状況変化への対応について問う。
- (3) 課題として記載されている「拠点性の高いエリアに住民サービス向上

に向けた施設の集積性による相乗効果」を生かす取り組み計画の考え方において、J R松井山手駅近辺における住民サービス向上に向けた対応について問う。

#### 4 地元課題への対応について

- (1) J R松井山手駅から京田辺駅間における、始発及び最終電車の延長運行について、J Rとの協議の進捗状況は。
- (2) 本市北部の玄関口として乗降客数増加の著しいJ R松井山手駅の改札口の増設と、ユニバーサルデザインに基づく駅舎トイレ等の改修について。
  - ア J R松井山手駅改札口の南改札口の新設をJ Rへ要望すべき。
  - イ 老朽化したトイレの改修に合わせ、ユニバーサルデザインを意識した駅舎となるような各種改修をJ Rへ要望すべき。

**1 防災・減災対策について**

- (1) 災害備蓄に液体ミルクの導入を。  
(周知のため健診やイベントで無償配布しては)
- (2) 防災講座などの充実を。  
(防災士の拡充推進、他自治会の先進事例の紹介、マイ・タイムライン  
講習導入など)

**2 子育て施策について**

- (1) 移動式を含め「赤ちゃんの駅」の導入を。
- (2) 登下校時などのGPS・アプリでの子ども見守りサービスの導入を。
- (3) 公立中学校の制服を性別に関係なく、選べるようにすべき。

**3 健康を守る施策について**

- (1) 子どもの重い胃腸炎予防のための「ロタワクチン」の周知徹底を含め、  
公費負担はどのように進めていくのか。
- (2) がん検診に関心を持っていただく施策の充実を。  
(乳がんグローブの配布・検診などの通知の工夫を)
- (3) 高齢者の「フレイル」(健常な状態から要介護状態へ移行する中間段階)  
対策はどのように進めていくのか。

**1 避難訓練と避難所運営について**

- (1) 現在、小・中学校の避難訓練は、どのようにしているのか。
- (2) 中学校での生徒による避難所開設訓練が必要と考えるがどうか。
- (3) 学校、地域住民、自治体、消防、警察などとの合同訓練、宿泊型や夜間の避難訓練など、より実効性のある訓練を提案する。
- (4) 障害者インクルーシブ防災の視点から、福祉避難所開設を含めた事業継続計画（BCP）の策定が必要と考えるが市の考えは。
- (5) 避難所内における乳幼児と保護者専用スペース、女性専用スペースの確保について、市の取り組みは。

**2 市民活動の支援の充実について**

- (1) 本市の市民活動団体の実態と支援の現状は。
- (2) より市民活動を活性化させるための課題は。
- (3) 中間支援機能も含めた市民活動の拠点となる市民活動センターの設置が必要と考えるが市の考えは。